（別記）

令和８年度栗原市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

主食用米をめぐる状況は、令和６年以降の米不足により民間在庫量の取り崩しが進む中、政府備蓄米の放出が行われたものの、令和７年６月末における全国の民間在庫量は１５５万トン、宮城県産米の民間在庫量も９万トンとなっており、いずれも概ね前年並みの低い水準で推移しています。

こうした需給環境を背景に、令和７年産米の相対取引価格は前年を上回る価格水準で推移しており、生産者の所得向上が期待される状況となっています。一方で、国においては、令和８年度においても主食用米の需給及び価格の安定を図るため、需要に応じた生産を基本とする生産調整の取り組みを継続する方針が示されており、引き続き、地域ごとの実情を踏まえた適正な生産量の確保が求められています。

また、国内における主食用米の年間需要量は、中長期的には人口減少や食生活の変化等により減少傾向にあることから、足元の米価動向のみに左右されることなく、中長期的な視点に立った取り組みを進めていく必要があります。

このため、本市においては、米価が高水準で推移している局面においても、国及び県が示す令和８年度の生産調整の考え方を踏まえ、需要に応じた主食用米の生産を基本としつつ、大豆や飼料作物などの戦略作物や収益性の高い園芸作物への転換を進めるとともに、需要拡大が見込まれる加工用米や新市場開拓用米の取り組みについて支援してまいります。

そして、これらの取り組みを通じて、水田農業の持続的な発展と農業所得の向上を図り、将来にわたって安定して稼げる地域農業の実現を目指してまいります。

また、喫緊の課題といえる生産者の高齢化や後継者不足問題に対応するため、栗原市地域計画に基づき担い手への農地の集積・集約化や、スマート農業の導入による作業の省力化、環境負荷軽減に向けた取り組みの推進を通じて、次世代につなぐ持続可能な農業の実現を目指してまいります。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本市の水田農業については、需要に応じた米生産を基本としながら、水田の有効活用と農業所得の確保を図るため、主食用米と転作作物を組み合わせた効率的な水田農業の推進を図ります。

また、地域の農業は米と畜産を中心とした土地利用型農業が主体となっており、水田における園芸作物の導入はまだ十分に進んでいない状況にあります。このため、水田農業の収益力向上を図るためには、高収益が期待される園芸作物の導入及び作付拡大を計画的に推進していく必要があります。

このため、収益性の高い水田農業の確立に向け、加工・業務用需要の拡大が見込まれる「たまねぎ」及び「食用ばれいしょ」を地域重点振興作物として位置付け、関係機関と連携しながら導入及び作付拡大を推進します。

また、ほ場整備事業の実施地区を中心に、団地化による作付の集約を図り、高収益作物の産地化を推進します。

転作作物については、大豆や飼料作物などの土地利用型作物に加え、水稲の作型を活かした備蓄用米、加工用米、飼料用米、ＷＣＳ用稲、新市場開拓用米などの需要に応じた生産を推進します。

特に新市場開拓用米については、今後の需要拡大が見込まれることから、多収品種の導入や作付拡大を進めるとともに、団地化による作業効率の向上や低コスト生産の取組を推進し、収益性の向上と経営の安定化を図ります。

また、本市は畜産が盛んであり、地域内で生産される堆肥などの有機質資源が豊富であることから、耕畜連携による資源循環型農業の取組を推進し、環境に配慮した持続可能な農業の確立を図ります。

併せて、大豆や飼料作物の団地化を進めることで、作業効率の向上と生産コストの低減を図り、水田農業の収益力強化につなげていきます。

今後は、県及びＪＡ等の関係機関と連携しながら、品目の選定や栽培技術の普及を進めるとともに、ほ場整備事業と連動した作付転換を推進し、水田農業の収益力向上と持続的な産地形成を図ります。

3　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

本市には、基盤整備事業により整備された農地のほか、中山間地域を中心に未整備の農地も多く、圃場条件により作付け可能な作物が限られる地域もあることから、担い手への農地の集積・集約が進みにくい状況にあります。

このため、地域の実情を踏まえながら、畑地化促進事業等の活用により畑地化を推進し、水田の有効利用を図ります。また、令和７年３月に策定した地域計画については、農業者等の意向を踏まえながら必要に応じて見直しを行い、農地の集積・集約化を進めることで、実効性のある計画となるよう取り組みます。

さらに、ブロックローテーション体系の構築については、本市が開田地域、中山間地域及び平坦地域など多様な圃場条件を有していることを踏まえ、農業者の意向を尊重しながら、取り組みが可能な地域から段階的に検討を進めていきます。

今後は、これらの取り組みを通じて、地域の実情に応じた水田の有効利用を進めるとともに、土地利用型作物の作付体系の確立を図り、持続的な水田農業の展開につなげていきます。

4　作物ごとの取組方針等

⑴　主食用米

国が示す令和８年度の生産調整の考え方を踏まえ、主食用米の生産の目安を設定し、需要に応じた生産を推進するとともに、実需者ニーズに対応した販売力のある産地づくりに向け、「高品質・良食味米」の生産や低コスト・省力化技術の普及、特色ある取り組みとして有機栽培等を推進してまいります。

⑵　備蓄米

国の動向を注視しつつ、地域の生産者が備蓄米の取り組みに柔軟かつ的確に対応できるよう、必要な支援を行ってまいります。

⑶　非主食用米

ア　飼料用米

令和６年産から一般品種（主食用品種）に対する戦略作物助成の交付単価が段階的に引き下げられていることや主食用米価格の上昇により作付面積が減少傾向にあることから、収益性の確保につながる専用品種「ふくひびき」の作付を促進するとともに、実需者の需要や耕畜連携の継続性を踏まえた低コスト生産の取組を推進し、作付面積の維持と安定的な生産体制の確保に努めてまいります。

イ　米粉用米

小麦代替に加え、グルテンフリー食品など新たな用途として需要拡大が見込まれることから、実需者と連携した米粉用米の安定供給体制の構築を図るとともに、低コスト生産の取組を支援し、生産の維持・拡大を推進してまいります。

ウ　新市場開拓用米

需要の拡大が見込まれる新市場開拓用米については、輸出などの新たな需要に対応するため、実需者との連携を強化し、多収品種の導入や低コスト生産の取組を推進するとともに、作付面積の拡大を進め、安定的な生産体制の確保と産地化を推進してまいります。

エ　ＷＣＳ用稲

主食用米の需給動向や米価の変動に左右されにくい安定した経営への転換を図るとともに、飼料自給率の向上や畜産経営のコスト低減に資するため、需要に応じた適正水準での作付を基本としながら、ＷＣＳ用稲の作付拡大と安定した生産体制の確保を推進してまいります。

オ　加工用米

酒造用米や加工食品用米としての需要拡大が見込まれることから、実需者との連携を図りながら加工用米の作付拡大を推進するとともに、低コスト生産の取組を支援し、安定的な生産体制の確保を図ってまいります。

⑷　麦、大豆、飼料作物

ア　麦

圃場条件が良好な地域で作付が可能である一方、専用機械等の設備投資が必要となることから、需要動向や経営体の意向を踏まえ関係機関と連携しながら作付拡大の可能性を検討するとともに、小麦の作付に取り組む経営体に対し、県やＪＡと連携した技術指導や排水対策、病害虫防除等の取り組みを通じて品質向上と収量の安定化を図ってまいります。

イ　大豆

本市の水田農業における主要な転換作物であり、県においても作付拡大が推進されていることから、直近の作付動向を踏まえ８００ヘクタール以上を目標とした作付拡大を図るとともに、「ミヤギシロメ」や「タチナガハ」、「すずみのり」を中心に需要に応じた作付誘導を進め、団地化や連坦化の推進による低コスト生産を図りながら、収量の安定化と品質の向上を推進してまいります。

ウ　飼料作物

戦略作物に対する助成単価の見直しや農業者の高齢化の進行に伴い、飼料作物の作付面積は減少傾向にあるものの、飼料価格の高止まりが続いていることから、耕畜連携による持続可能な取組を推進するとともに、団地化を進めることで低コストな生産体制の構築を図ってまいります。

⑸　そば

そばの作付けは、中山間地など条件の不利な圃場での取り組みが多いことから、明渠や暗渠などを活用した排水対策を進め、品質の向上と収量の安定化を目指していきます。

⑹　地力増進作物

収益性の高い作物の生産には、有機物の還元による土づくりが不可欠であることから、地力増進作物の導入・活用を通じて、土づくりの取り組みを推進していきます。

⑺　高収益作物

水田における園芸作物の作付割合が低い状況を踏まえ、水田農業の高収益化と農業者の所得向上を図るため、各種補助事業を活用しながら「食用ばれいしょ」や「たまねぎ」などの地域重点振興作物及び地域振興作物の作付拡大と産地の定着を推進するとともに、加工・業務用向けの需要拡大が見込まれる品目については、実需者ニーズを踏まえた生産の取り組みを進めてまいります。

○地域重点振興作物（９品目）

・かぼちゃ	・きゅうり	・スナップエンドウ
・ほうれんそう	・未成熟そらまめ	・キャベツ
・ズッキーニ	・食用ばれいしょ	・たまねぎ

○地域振興作物（１８品目）

・ねぎ	・スイートコーン	・らっきょう	・いちご
・トマト	・れんこん	・きく類	・山菜 ※
・ピーマン	・ししとう	・じねんじょ	・なばな類
・アスパラガス	・ブルーベリー	・えだまめ	・芝草
・モロヘイヤ	・さつまいも		

※山菜は、しいたけ、ひらたけ、まいたけ、むきたけ、わらび、たらの芽、ぜんまい、ウド、行者にんにく、畑わさび

５　作物ごとの作付予定面積等　～　**８　産地交付金の活用方法の明細**

別紙のとおり

※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位：ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	9,640.30	0.00	8,644.00	0.00	7,888.00	0.00
備蓄米	0.00	0.00	550.00	0.00	600.00	0.00
飼料用米	129.90	0.00	130.00	0.00	300.00	0.00
米粉用米	6.77	0.00	8.00	0.00	10.00	0.00
新市場開拓用米	29.53	0.00	60.00	0.00	150.00	0.00
WCS用稲	675.73	0.00	850.00	0.00	800.00	0.00
加工用米	22.11	0.00	33.00	0.00	40.00	0.00
麦	15.15	0.00	15.00	0.00	20.00	0.00
大豆	772.13	0.00	800.00	0.00	1,000.00	0.00
飼料作物	1,235.33	17.67	1,214.00	25.00	1,400.00	35.00
・子実用とうもろこし	5.03	0.00	5.05	0.00	6.00	0.00
そば	31.89	0.00	32.00	0.00	33.00	0.00
なたね	0.42	0.00	0.45	0.00	0.50	0.00
地力増進作物	5.55	0.00	1.00	0.00	2.00	0.00
高収益作物（①+②+③+④）	343.09	0.00	381.19	0.00	415.66	0.00
野菜(計)①	262.86	0.00	299.69	0.00	330.67	0.00
かぼちゃ	42.54	0.00	50.00	0.00	55.00	0.00
きゅうり	15.94	0.00	17.00	0.00	19.50	0.00
スナップエンドウ	0.90	0.00	1.00	0.00	1.50	0.00
ほうれんそう	2.38	0.00	2.50	0.00	4.00	0.00
未成熟そらまめ	4.61	0.00	5.50	0.00	6.50	0.00
キャベツ	2.99	0.00	2.50	0.00	3.00	0.00
ズッキーニ	10.16	0.00	10.80	0.00	12.00	0.00
ねぎ	24.08	0.00	27.00	0.00	30.00	0.00
スイートコーン	0.00	0.00	7.50	0.00	9.00	0.00
らっきょう	0.89	0.00	1.00	0.00	1.30	0.00
いちご	5.91	0.00	6.50	0.00	7.00	0.00
トマト	11.94	0.00	14.50	0.00	15.00	0.00
れんこん	10.45	0.00	11.00	0.00	12.00	0.00
山菜	5.07	0.00	5.70	0.00	6.00	0.00
ピーマン	0.92	0.00	1.20	0.00	1.50	0.00
ししとう	0.59	0.00	0.60	0.00	1.00	0.00
じねんじょ	0.43	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
なばな類	0.01	0.00	0.10	0.00	1.00	0.00
アスパラガス	1.29	0.00	1.30	0.00	1.20	0.00
えだまめ	2.78	0.00	3.00	0.00	8.00	0.00
モロヘイヤ	0.26	0.00	0.40	0.00	0.50	0.00
なす	9.51	0.00	10.00	0.00	12.00	0.00
すいか	0.95	0.00	1.00	0.00	1.20	0.00
メロン	0.26	0.00	0.26	0.00	0.30	0.00
はくさい	0.87	0.00	0.87	0.00	0.80	0.00
たまねぎ	4.18	0.00	10.00	0.00	15.00	0.00

	レタス	0.00	0.00	0.10	0.00	0.15	0.00
	だいこん	1.48	0.00	2.00	0.00	2.50	0.00
	にんじん	0.35	0.00	0.40	0.00	0.15	0.00
	さといも	1.41	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00
	青さやいんげん	0.15	0.00	0.25	0.00	0.40	0.00
	食用ばれいしょ	27.78	0.00	30.00	0.00	35.00	0.00
	食用かんしょ	2.42	0.00	2.50	0.00	1.50	0.00
	しろうり	0.00	0.00	0.01	0.00	0.02	0.00
	オクラ	0.00	0.00	0.01	0.00	0.02	0.00
	ブロッコリー	0.33	0.00	0.35	0.00	0.90	0.00
	しゅんぎく	0.09	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
	パセリ	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00
	しそ	0.41	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
	にんにく	0.95	0.00	1.00	0.00	1.10	0.00
	にら	0.31	0.00	0.40	0.00	0.50	0.00
	みょうが	0.43	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
	かぶ	0.00	0.00	0.01	0.00	0.03	0.00
	ごぼう	0.11	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
	カリフラワー	0.00	0.00	0.10	0.00	0.14	0.00
	クレソン	0.01	0.00	0.03	0.00	0.03	0.00
	せり	0.04	0.00	0.20	0.00	0.17	0.00
	くわい	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00
	ゴーヤ	0.00	0.00	0.30	0.00	0.50	0.00
	ヤーコン	0.00	0.00	0.30	0.00	0.60	0.00
	ゆうがお	0.06	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00
	その他湛水性野菜	0.18	0.00	0.18	0.00	0.10	0.00
	ふき	1.12	0.00	1.15	0.00	1.20	0.00
	わさび	0.75	0.00	0.75	0.00	0.04	0.00
	その他野菜	64.56	0.00	65.00	0.00	58.00	0.00
	花き・花木（計）②	13.76	0.00	13.85	0.00	15.40	0.00
	きく	2.98	0.00	3.20	0.00	3.20	0.00
	トルコギキョウ	0.05	0.00	0.05	0.00	0.50	0.00
	その他花き	1.94	0.00	2.00	0.00	3.00	0.00
	花木	8.43	0.00	8.50	0.00	8.50	0.00
	ハス	0.36	0.00	0.10	0.00	0.20	0.00
	果樹（計）③	37.94	0.00	38.82	0.00	40.00	0.00
	ブルーベリー	4.78	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00
	その他果樹	33.16	0.00	33.82	0.00	35.00	0.00
	その他の高収益作物（計）④	28.53	0.00	28.83	0.00	29.59	0.00
	芝草	22.10	0.00	22.20	0.00	22.20	0.00
	加工用青刈り稲	0.55	0.00	0.55	0.00	0.55	0.00
	えごま	0.37	0.00	0.50	0.00	1.00	0.00
	小豆	1.43	0.00	1.50	0.00	1.70	0.00
	種苗類	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00
	こんにゃく	0.08	0.00	0.08	0.00	0.14	0.00
その他		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	・その他作物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
畑地化		0.95	0.00	3.90	0.00	5.00	0.00

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	大豆（基幹作）	大豆団地加算（団地面積が４ha以上）	取組面積 １０a当たり労働時間	（7年度）596.72ha （7年度）7.19h/10a	（8年度）770.00ha （8年度）6.4h/10a
2	麦（基幹作）	麦団地加算（団地面積が４ha以上）	取組面積 １０a当たり収量	（7年度） 15.15ha （7年度） 359.28kg/10a	（8年度） 20.00ha （8年度）320kg/10a
3	飼料作物（基幹作）	飼料作物団地加算①（団地面積が４ha以上）	取組面積 １０a当たり労働時間	（7年度）278.96ha （7年度） 混播牧草8.5h/10a 飼料用ﾄｳﾓﾛｺｼ4.8h/10a ｲﾀﾘｱﾝﾗｲｸﾞﾗｽ4.1h/10a	（8年度）204.00ha （8年度） 混播牧草7.7h/10a 飼料用ﾄｳﾓﾛｺｼ4.7h/10a ｲﾀﾘｱﾝﾗｲｸﾞﾗｽ3.7h/10a
4	飼料作物（基幹作）	飼料作物団地加算②（団地面積が４ha以上）	取組面積 １０a当たり労働時間	（7年度）373.27ha （7年度）13.21h/10a	（8年度）540.00ha （8年度）13.00h/10a
5	飼料用米（基幹作）	飼料用米の作付拡大助成	作付面積 拡大面積	（7年度）129.90ha （7年度）1.05ha	（8年度）130.00ha （8年度）11.00ha
6	加工用米（基幹作）	加工用米の作付拡大助成	作付面積 拡大面積	（7年度）22.11ha （7年度）9.90ha	（8年度）33.00ha （8年度）10.00ha
7	飼料用米の生産ほ場の稲わら（基幹作）	耕畜連携助成（わら利用）	取組面積 飼料用米の作付面積に対する対象面積の割合	（7年度）63.17ha （7年度）48.62%	（8年度）78.00ha （8年度）60.00%
8	粗飼料作物等（基幹作）	耕畜連携助成（資源循環）	取組面積 飼料作物生産面積に対する対象面積の割合	（7年度）793.41ha （7年度）41.52%	（8年度）950.00ha （8年度）43.18%
9	飼料作物（二毛作）	二毛作助成	取組面積 取組件数	（7年度）17.67ha （7年度）11件	（8年度）35.00ha （8年度）11件
10	栗原市農業ビジョンに定めた地域振興作物（いちご、トマト　ほか個票に記載のとおり）（基幹作）	地域振興作物助成	地域振興作物助成の作付面積 作付面積に対する割合	（7年度）63.06ha （7年度）68.13%	（8年度）80.00ha （8年度）64.30%
11	栗原市農業ビジョンに定めた地域重点振興作物（きゅうり、ほうれんそう　ほか個票に記載のとおり）（基幹作）	地域重点振興作物助成	地域重点振興作物助成の作付面積 目標に対する割合	（7年度）43.67ha （7年度）39.15%	（8年度）90.00ha （8年度）59.40%
12	食用ばれいしょ、たまねぎ（基幹作）	加工業務用園芸助成	助成対象の作付面積 作付面積に対する面積割合	（7年度） 2.18ha （7年度） 6.83%	（8年度）10.00ha （8年度）20.00%
13	そば（基幹作）	そば収量向上対策助成	水田作でのそばの取組面積 そば収量	（7年度）7.84ha （7年度）39.94kg/10a	（8年度）13.00ha （8年度）55.0kg/10a
14	野菜、花き・花木、果樹、その他作物（基幹作）	その他作物助成	助成対象作物の作付面積 作付面積に対する割合	（7年度）5.13ha （7年度）3.86%	（8年度）21.00ha （8年度）16.80%
15	栗原市農業ビジョンに定めた地域振興作物（いちご、トマト　ほか個票に記載のとおり）（基幹作）	地域振興作物団地集積助成	地域振興作物の作付面積 地域振興作物の団地面積	（7年度）63.06ha （7年度）52.27ha	（8年度）80.00ha （8年度）70.00ha
16	栗原市農業ビジョンに定めた地域重点振興作物（きゅうり、ほうれんそう　ほか個票に記載のとおり）（基幹作）	地域重点振興作物団地集積助成	地域重点振興作物の作付面積 地域重点振興作物の団地面積	（7年度）43.67ha （7年度）26.89ha	（8年度）70.00ha （8年度）55.00ha
17	新市場開拓用米（基幹作）	新市場開拓用米助成	取組面積 収量	（7年度）29.53ha （7年度）541kg/10a	（8年度）60.00ha （8年度）600kg/10a
18	そば（基幹作）	そば振興助成【国枠】	取組面積	（7年度）30.37ha	（8年度）33.00ha
19	新市場開拓用米（基幹作）	新市場開拓用米取組拡大助成【国枠】	取組面積	（7年度）29.53ha	（8年度）60.00ha
20	地力増進作物（基幹作）	地力増進作物作付助成【国枠】	取組面積	（7年度）0.0ha	（8年度）1.00ha

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：宮城県

協議会名：栗原市農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	大豆団地加算 （団地面積が4ha以上）	1	7,000	大豆（基幹作）	・1ha以上の連坦団地で4ha以上の団地化 ・大豆300A技術等の取組みを1つ以上 ・収量、品質を向上させる取組み(別表2)を1つ以上
2	麦団地加算 （団地面積が4ha以上）	1	7,000	麦（基幹作）	1ha以上の連坦団地で4ha以上の団地化
3	飼料作物団地加算① （団地面積が4ha以上）	1	4,000	飼料作物（基幹作）	・1ha以上の連坦団地で4ha以上の団地化 ・実需者等との利用供給協定を締結し、収穫・出荷・販売を行うこと。
4	飼料作物団地加算② （団地面積が4ha以上）	1	5,000	飼料作物（基幹作）	・1ha以上の連坦団地で4ha以上の団地化 ・実需者等との利用供給協定を締結し、収穫・出荷・販売を行うこと。
5	飼料用米の作付拡大助成	1	6,000	飼料用米（基幹作）	対象作物の前年度からの拡大面積に応じて支援
6	加工用米の作付拡大助成	1	9,000	加工用米（基幹作）	対象作物の前年度からの拡大面積に応じて支援
7	耕畜連携助成（わら利用）	3	6,000	飼料用米の生産ほ場の稲わら（基幹作）	利用供給協定に基づき実施する飼料用米生産ほ場の稲わら利用の取組であること。
8	耕畜連携助成（資源循環）	3	6,000	粗飼料作物等（基幹作）	水田で生産された粗飼料作物等の供給を受けた家畜の排せつ物から生産された堆肥を粗飼料作物等を作付する又は作付した水田に施肥する取組であること。
9	二毛作助成	2	6,000	飼料作物（二毛作）	・実需者との出荷・販売契約を締結し、収穫、出荷・販売を行うこと。 ・飼料作物は、実需者等との利用供給協定を締結し、収穫・出荷・販売を行うこと。
10	地域振興作物助成	1	12,000	栗原市農業ビジョンに定めた地域振興作物（いちご、トマト　ほか個票に記載のとおり）（基幹作）	野菜、花き・花木、その他作物については、実需者等への出荷・販売等を行うこと。果樹等の収穫まで1年以上を要する作物については、地域の栽培指針に沿った肥培管理を行うこと。
11	地域重点振興作物助成	1	15,000	栗原市農業ビジョンに定めた地域重点振興作物（きゅうり、ほうれんそう　ほか個票に記載のとおり）（基幹作）	収穫し、実需者等へ出荷・販売を行うこと。
12	加工業務用園芸助成	1	13,000	野菜（食用ばれいしょ、たまねぎ）（基幹作）	・収穫し、実需者等への出荷・販売を行うこと。 ・1作物0.5ha以上の連坦団地を構成している。または0.5ha以上の作業集積が行われていること。
13	そば収量向上対策助成	1	3,000	そば（基幹作）	・収穫し、実需者等へ出荷・販売を行うこと。 ・条播種の実施及び明渠による排水対策に取り組むこと。
14	その他作物助成	1	3,000	野菜、花き・花木、果樹、その他作物（基幹作）	野菜、花き・花木、その他作物については、実需者等への出荷・販売等を行うこと。果樹等の収穫まで1年以上を要する作物については、地域の栽培指針に沿った肥培管理を行うこと。
15	地域振興作物団地集積助成	1	9,000	栗原市農業ビジョンに定めた地域振興作物（いちご、トマト　ほか個票に記載のとおり）（基幹作）	1作物0.2ha以上の連坦団地を構成している。または1作物0.2ha以上の作業集積が行われていること。
16	地域重点振興作物団地集積助成	1	12,000	栗原市農業ビジョンに定めた地域重点振興作物（きゅうり、ほうれんそう　ほか個票に記載のとおり）（基幹作）	1作物0.2ha以上の連坦団地を構成している。または1作物0.2ha以上の作業集積が行われていること。
17	新市場開拓用米助成	1	13,000	新市場開拓用米（基幹作）	・加工用米等取組計画書が受理されていること。 ・実需者等との出荷・販売契約を締結し、収穫・出荷・販売を行うこと。
18	そば振興助成【国枠】	1	20,000	そば（基幹作）	実需者等との出荷・販売契約を締結し、収穫・出荷・販売を行うこと。
19	新市場開拓用米取組拡大助成 【国枠】	1	20,000	新市場開拓用米（基幹作）	・加工用米等取組計画書が受理されていること。 ・実需者等との出荷・販売契約を締結し、収穫・出荷・販売を行うこと。
20	地力増進作物作付助成 【国枠】	1	20,000	地力増進作物（基幹作）	大豆、高収益作物を販売目的で作付けする前に地力増進作物を作付けし、すき込みを行うこと。

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「○○○（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「○○○（耕畜連携）」と記入してください。
　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「○○○（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。